

「武蔵村山の魅力づくり推進事業」

報告書

令和2年3月31日

西武トラベル株式会社

目 次

1. 事業概要	
1) 目的	2
2) スケジュール	2
3) 運営体制	2
4) 武蔵村山の魅力づくり推進事業協議会	3
5) 魅力づくり推進事業交流会	4
2. 事業制作物	
1) スマートフォン向けアプリ開発	4
2) コースマップ制作	4
3) むむちゃんクリアファイル制作	5
4) モニターツアー募集チラシ制作	6
3. 事業成果	
1) “ムサブラ” アプリ	6
2) ツアー募集期間	6
3) ツアー募集方法	6
4) ツアー参加人数	8
5) アプリ供給	8
6) コースマップ作成	8
7) むむちゃんクリアファイル制作	8
8) 協力マイスター	8
9) 利用施設	8
10) モニターツアー内容	9
11) アンケート集計	12
12) 統括	12

1. 事業概要

1) 目的

本事業では、既存の地域資源を生かし、新鮮で感動的な体験を提供し、体験した人が情報発信する仕組みを構築する。

市内においては、魅力マイスターの相互のつながりを作り、地域資源を生かすことに関わる人の意思を統一すること、また、子供たちを含めた市民が、本市の伝統文化、産業、史跡等を誇りに思い、次の世代へ継承していくことを目標にする。

市外に対しては、本市に来なければ体験できない地域資源をブランド化し、来訪者の増加を図り、購買行動への誘導、住んでみたいと思うまちとしてのイメージを持ってもらうことを目的とする。

2) スケジュール

実施日	実施内容	制作物
5月14日	第1回武蔵村山の魅力づくり推進協議会	
9月27日	第2回武蔵村山の魅力づくり推進協議会	
10月15日 10月21日	募集チラシ設置 西武トラベル会員向けメルマガ発行	
11月5日 11月16日 11月17日	西武プリンスクラブ会員向けメルマガ発行 第1回武蔵村山の魅力体験モニターツアー実施 第2回武蔵村山の魅力体験モニターツアー実施	
3月5日	第3回武蔵村山の魅力づくり推進協議会（中止） 武蔵村山の魅力づくり推進事業交流会（中止）	

3) 運営体制

	所属	氏名
会長	網代園製茶所	網代 進
副会長	むさしの化石塾	福嶋 徹
	武蔵村山郷土の会	石川 伊三郎
	小林農園	小林 卓矢
	狭山丘陵さんぽフォトグラファー	坂下 智浩
	紅茶専門店 KANDY	藤島 孝子
	村山織物協同組合	田代 隆久
	村山うどんの会	藤本 ゆみ子
	むさし村山ストリートダンス協会	中野 むつみ
	武蔵村山市製茶組合	高山 充則
委託業者	西武トラベル株式会社	長谷川、田島
事務局	武蔵村山市協働推進部観光課	

4) 武蔵村山の魅力づくり推進協議会

下記日程にて推進協議会を2回開催した。

※第3回推進協議会は、新型コロナウイルス感染拡大の新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。

(1) 第1回推進協議会

開催日時：令和元年5月14日(火) 19:00-19:40

開催場所：武蔵村山市役所4階 402 学習室B

出席者：高山委員、藤本委員、藤島委員、小林委員

事務局：観光課係長、同課主事

報告事項(1) 平成30年度第3回武蔵村山の魅力づくり推進協議会
会議録について

報告事項(2) その他

議題(1) 令和元年度武蔵村山の魅力づくり推進事業について(案)

議題(2) 委託業者の選定について(予定)

議題(3) その他(次回予定)

(2) 第2回推進協議会

開催日時：令和元年9月27日(金) 19:00-20:00

開催場所：武蔵村山市役所4階 403 会議室

出席者：網代会長、小林委員、藤本委員、田代委員、石川委員、
藤島委員

委託業者：西武トラベル(株)長谷川

事務局：観光課主事

報告事項（１）令和元年度第１回武蔵村山の魅力づくり推進協議会会議録について

報告事項（２）委託業者の選定について

報告事項（３）その他

議題（１）令和元年度武蔵村山市の魅力づくり推進事業モニターツアーについて

議題（２）その他（今後の予定）

（３）第３回推進協議会（中止）

開催日時：令和２年３月５日（木）19：00-19：30

開催場所：武蔵村山市役所４階 401 会議室

５）魅力づくり推進事業交流会

下記日程にて推進事業交流会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。

開催日時：令和２年３月５日（木）19：30-21：00

開催場所：武蔵村山市役所４階 401 会議室

２．事業制作物

（１）スマートフォン向けアプリの開発（カシオ計算機に委託）

魅力マイスターの案内でブラ歩きしながら武蔵村山市の伝統文化・グルメ・産業史跡等を紹介したスマートフォン向けアプリを開発し、撮影した写真をその場で SNS 等に情報を発信できるようにした。

スマホアプリで、楽しい写真をSNSにアップしよう!!

ツアーをより楽しみたいあなたへ

ムサブラアプリ 詳しい使い方は 裏面から

ムサブラアプリで 武蔵村山の魅力を発信しよう!

START 11月16日

START 11月17日

ゴール

お感じの便や、パスの移動のよみが SNS アップのチャンス!

アップしてくれた方は 素敵なプレゼントがあるよ

武蔵村山市観光課 広報キャラクター 七尾ももん

使い方

STEP 1 1. ムサブラアプリで検索。もしくは、QRコードかダウンロード!

STEP 2 2. コースをスクロールし、観たいスポットの記事をタップする

STEP 3 3. 記事を読み終わると、フレーム画像が出てくるのでタップする。

STEP 4 4. 武蔵村山の魅力が伝わる素敵な写真を撮ってきましょう!!

STEP 5 5. 保存された写真をMMEXアプリでSNSにアップしよう!!

おまじり

「なで」ボタンを押すと、マイスターの少し長いダイジェストがご覧いただけます!

プレゼント

SNSで投稿された方全員に 特製缶バッジをプレゼント!!

抽選で 50名の自然100

武蔵村山市観光課 TEL: 042-565-1111 【内線 225】

(2) コースマップ制作

モニターツアーで巡る地点をマップにして300部制作。ツアー終了後であっても、マップを活用し各所のみどころを散策できるように平成29年度東エリアコースに平成30年度に西コースを加え、情報館「えのき」をはじめとした公共施設に配置している。

武蔵村山の魅力体験コースマップ

魅力マイスターと「ムサブラ」しながら武蔵村山の魅力を体験してください!!

西エリア

東エリア

西めぐり

東めぐり

042-565-1111(内線225)

武蔵村山市の見どころ紹介

魅力マイスターの皆さん

武蔵村山について

西エリア

東エリア

3. 事業成果

(1) 「” ムサブラ “アプリ」

合計 1220ダウンロード

「武蔵村山の魅力体験日帰りモニターツアー」

実施日

① 令和元年11月16日（土）

② 令和元年11月17日（日）

(2) ツアー募集期間

令和元年10月15日（月）－11月15日（金）

(3) ツアー募集方法

①チラシによる募集

設置場所及び部数	武蔵村山市	500部
	・「情報館」えのき	15部
	・市政情報コーナー	15部
	・村山温泉「かたくりの湯」	15部
	・市役所2階窓口	15部
	・観光情報センター	75部
	・観光情報センター多摩	75部
	・小林農園	20部
	・村山うどんの会会員店	140部
	・総合体育館	15部
	・歴史民俗資料館	15部
	・歴史民俗資料館分館	15部
	・保険相談センター	15部
	・お伊勢の森分室	15部
	・緑が丘出張所	15部
	・福祉会館	15部
	・ふれあいセンター	15部
		計490部
	西武トラベル池袋営業所	200部
	西武トラベル高田馬場営業所	200部
	西武トラベル新橋本社	100部
	西武園遊園地	100部
	BOGBOX東大和	100部
	としまえん庭の湯	100部

新横浜スケートセンター	100部
東伏見スケートセンター	100部
高輪テニススクール	100部
高輪ゴルフスクール	100部
品川プリンスホテル	100部
西武フィットネスクラブ所沢	100部
掬水亭	100部
	計 1,500部
	合計 2,000部

② 西武プリンスクラブ会員向けメルマガ(全国)

11月5日(月)発行 328,000部

③ 西武トラベルメルマガ(全国)

10月21日(月)発行 3,680部

④ 西武トラベルホームページにて告知

⑤ 武蔵村山市ホームページにて告知、およびチラシ設置、SNSでの告知

(4) ツアー参加人数(募集定員各25名)

出発日	参加人数	当日キャンセル
11月16日(土)	25人	0人
11月17日(日)	25人	2人

(5) アプリ供給

令和元年11月1日(金)～令和2年3月31日(火)利用可

ユーザー数	機種		合計
	Android	ios	
日本	476	644	1120
外国	61	39	100
合計	537	683	1220

(6) ツアーコースマップ制作

11月11日(月)納品 A3 4C X 4C 300部

(7) むむちゃんクリアファイル制作

11月14日(木)納品 1,000部

(8) 協力マイスター

- ① 小林 卓矢（東京狭山みかんマイスター）
- ② 藤本 ゆみ子（うどんマイスター）
- ③ 比留間 良幸（うどんマイスター）
- ④ 高橋 健樹（郷土史マイスター）
- ⑤ 貞 儀憲（村山党マイスター）
- ⑥ 藤島 孝子（紅茶マイスター）

(9) 利用施設

- A 小林農園
- B 青柳（うどん店）
- C 武蔵村山市立中久保図書館（甲冑着付体験）
- D 武蔵村山市民会館（スコーンづくり体験、うどんづくり体験）
- E 村山温泉「かたくりの湯」

(10) モニターツアー内容

魅力マイスターと一緒にぶらりと歩く”ムサブラ”をしながら、武蔵村山の魅力と謎を解き明かす魅力体験日帰りモニターツアーを開催した。

参加者の皆様は、マイスターに積極的に質問し、スマートフォンアプリ「ムサブラ」を利用しながら武蔵村山の魅力の謎を解いていた。

「謎①」なぜ東京で“みかん”なの？

ツアー両日とも、小林農園にて小林マイスター御協力のもとみかん狩りの体験を行った。みかん狩りのコツなどを教えていただいただけでなく、東京狭山みかんの特徴や歴史についても教えていただいた。



「謎②」武蔵村山といえば村山うどん？

ツアー1日目は、村山うどんの会会員店の「青柳」で藤本マイスター、比留間マイスター及び遠藤マイスター御協力のもと村山かてうどんを召し上がっていただいた。また、村山かてうどんを待っている間、うどんのづくりの実演をしていただいた。

ツアー2日目は、市民会館さくらホールにて藤本マイスター並びに村山うどんの会の御協力のもとうどんづくりを行った。1グループに講師が一人付いていただいたのでどのグループも上手く作ることができ、子供から大人まで幅広い世代に満足していただいた。



「謎③」トンネル群のヒミツとは？

ツアー両日とも、高橋マイスターの協力のもと軽便鉄道廃線跡・トンネル群の見学を行った。昔、武蔵村山に鉄道が通っていた話やトンネルの構造などたくさんのお話をしていただいた。



「謎④」なぜ村山に武士がいた？

ツアー1日目に、中久保図書館の駐車場にて武士団・村山党のメンバーである貞マイスター及び徳田マイスター並びに武士団・村山党の御協力のもと甲冑の着付け体験を行った。また、貞マイスターには、武蔵村山にいた武士の起源などの歴史を語っていただいた。



「謎⑤」なぜ村山でスコーンづくり？

ツアー1日目に、市民会館さくらホールにて藤島マイスターのご指導のもとスコーンづくりを行った。紅茶専門店KANDYの経営者である藤島マイスターに、お店をはじめたきっかけや市内の特産品を使っている地域ブランド認証品「むさし村山四季彩シフォン」を紹介していただいた。



「謎⑥」なぜここに温泉が？

ツアー両日とも、ツアーの最終地点を村山温泉「かたくりの湯」とした。

村山温泉「かたくりの湯」の説明をした後、希望者は入浴していただきツアーの疲れを癒してもらった。



(11) アンケート結果 (※)

別紙 参照

(12) 総括

(1) 事業の成果

昨年度に実施したモニターツアーのアンケート結果で、“ムサブラ”アプリを用いて武蔵村山の魅力発信をした方が少なかったため、ツアー募集の段階で情報発信についての条件やツアー内で発信する時間を設けるなどの工夫が必要であった。また、モニターツアーの内容が盛りだくさんとなり行程にゆとりがなかったため、時間配分の見直しなども必要であった。

このことから本年度においては、最終案内発送時に“ムサブラ”アプリを事前にインストールするよう告知チラシを配布し、バスの移動時間などで情報発信する旨をアナウンスした結果、当日は、ほとんどの参加者が事前にアプリをインストールし、スムーズに情報発信をすることができた。また、今まで徒歩で移動していたところをバスの移動に変更し、時間に余裕を持った行程とした。

アンケート結果で、本ツアーの内容（魅力マイスターと一緒に武蔵村山の魅力を体験する企画）は非常に好評であるため、今後も継続していきたい。

一昨年度、昨年度に引き続き、参加料は一人当たり1,000円という設定であり、募集の妨げにはなっていない。むしろ、一定の金額をいただくことによってキャンセル率の低下を防ぐことができた。

(2) 今後の課題と展開

一昨年度から配信している“ムサブラ”アプリは、モニターツアーに参加した人が武蔵村山の魅力を体験し、情報発信をするだけでなく、モニターツアーに参加できなかった人にもセルフで武蔵村山の魅力を体験することができるアプリである。昨年度と比べてダウンロード数や情報発信数は多くなったが、モニターツアーに参加した人の情報発信がほとんどである。今後は、参加者以外の人に積極的に発信してもらうような仕掛けづくり（発信数に応じて特典を付けるなど）をしていくことが必要である。

本事業は、行政主体のため予算の関係上、事業内容が限定的になってしまっているのが現状であり、魅力マイスターの企画・立案などを反映するのが難しかった。

今後は、一般社団法人で設立する観光協会や魅力マイスター等と連携し、自由な企画・立案ができる運営体制にしていく方法も視野に入れていく必要がある。